

2014年1月28日

各位

大学英語教育学会(JACET)教育問題研究会

代表 久村研

「言語教育エキスポ 2014」開催について(案内)

時下ますます、ご清栄のこととお慶びを申し上げます。

さて、JACET 教育問題研究会では、神保尚武(早稲田大学)科研費研究と西山教行(京都大学)科研費研究の支援を受けて実施した 2013 年度研究成果報告会を次頁の要領で開催することとなりました。言語教育エキスポ 2014 の大会テーマは、「外国語学習のための動機づけ」です。

また、喫緊の課題として浮かび上がった小学校の英語教育教科化を考えるシンポジウムを卯城祐司先生(全国英語教育学会会長・小学校英語教育学会会長・関東甲信越英語教育学会会長)、竹内理先生(外国語教育メディア学会会長)、神保尚武先生(大学英語教育学会会長)をシンポジストとして開催することになりました。この言語教育エキスポ 2014 に参加希望の方は、2月28日までにその旨を書いたメールを shien@cuc.ac.jp までお送りください。先着 300 名までに参加証をメールでお送りします。また、各発表のアブストラクト付きのプログラムは <http://www.waseda.jp/assoc-jacetenedu/expo2014.pdf> で、公開しております。

共催団体は以下のとおりです:

神保尚武科研(早稲田大学)基盤研究(B), 西山教行科研(京都大学)基盤研究(A)
境一三科研(慶應義塾大学)基盤研究(A), 林田理恵科研(大阪大学)基盤研究(B),
大木充(京都大学)基盤研究(B), 相澤一美科研(東京電機大学)基盤研究(B),
清田洋一科研(明星大学)基盤研究(C), 砂岡和子科研(早稲田大学)基盤研究(C),
酒井志延科研(千葉商科大学)基盤研究(C), 藤尾美佐科研(東洋大学)基盤研究(C)
中山夏恵科研(共愛学園前橋国際大学)基盤研究(C), 安達理恵科研(愛知工科大学)基盤研究(C),
高木亜希子科研(青山学院大学)若手研究(B), 松岡里枝子科研(国立看護大学校)基盤研究(C)
日本フランス語教育学会:代表 古石篤子(慶應義塾大学)
日本メディア英語学会:代表 染谷泰正(関西大学)
日豪NZ教育文化学会(JANTA):代表 久村研(田園調布学園大学)
日本ロシア語教育研究会:代表 柳町裕子(新潟県立大学)
日本ロシア文学会教育委員会:委員長 黒岩幸子(岩手県立大学)
日本イスパニヤ学会:代表 野谷文昭(東京大学)
中国語教育学会:代表 佐藤富士雄(中央大学)
朝鮮語教育研究会:世話人代表 長谷川由起子(九州産業大学)
日本独文学会ドイツ語教育部会:部会長 境一三(慶應義塾大学)
日本英文学会関東支部英語教育・学習研究会:会長 斎藤兆史(東京大学)
外国語教育メディア学会 九州・沖縄支部:支部長 島谷 浩(熊本大学)

言語教育エキスポ 2014 プログラム

大会委員長 神保尚武(早稲田大学)

日時:2014年3月9日(日) 場所:早稲田大学 11号館 4階会議場 406, 407, 408, 409, 410

参加費無料, 事前登録必要

406 会議室

9:00-10:30 シンポジウム 1:小学校外国語活動---外国語学習の初めに学習者をどのように動機づけるか。

司会・提案:安達理恵(愛知工科大学) 小学校外国語活動:外国語学習の初めに学習者をどのように動機づけるか, シンポジスト:北野ゆき(守口市立春日小学校) 体験からの発見, 気づきを大切にしたい外国語活動, 犬塚章夫(刈谷市立小垣江小学校) 小学校5・6年生をどのように動機づけるか—*Hi, friends!*の実践を通して, 牧野真貴(近畿大学) 国際理解の視点から小学校外国語活動の動機づけを考える

10:40-12:10 基調講演 Jonathan Newton (Victoria University of Wellington, NZ) Motivating learners through intercultural communicative language teaching (iCLT) 異文化理解による言語学習で学習者を動機づけること

12:10-13:00 昼食休憩

13:00-14:30 シンポジウム 2:英語教員のための省察的ツールの意義 J-POSTL 完成版披露を兼ねて

司会・提案:久村研(田園調布学園大学) シンポジスト:金谷憲(元東京学芸大学), 柳瀬陽介(広島大学)

14:45-16:45 シンポジウム 3:英語以外の外国語教育について-2012年に実施した全国調査の結果をもとに, 第2外国語の学習者の動機づけと教師の意識について研究を発表し討議する。

司会:林田理恵(大阪大学), 指定討論者:姫田麻利子(大東文化大学), シンポジスト:大木充(京都大学) 各言語間の動機づけの特徴と研究のまとめ, 砂岡和子, 山口高嶺(早稲田大学) いまどきの仏独中西韓露語の授業現場—2012全国6言語教員意識調査の分析—, 藤原三枝子(甲南大学), 長谷川由起子(九州産業大学) 教師の意識・教え方等と基本的心理的欲求・動機づけの関係, 堀晋也(京都大学) 6(仏独中西韓露)言語の学習動機の自由記述文の質的分析

17:00-18:30 シンポジウム 8: 小学校英語教育の教科化について考える

司会:高木亜希子(青山学院大学), 指定討論者:犬塚章夫(刈谷市立小垣江小学校), シンポジスト:卯城祐司(全国英語教育学会会長・小学校英語学会会長・関東甲信越英語教育学会会長) 教科化検討の前に解くべき「連立方程式」, 竹内理(外国語教育メディア学会会長) ウイッシュ・リストからの脱却を目指して

神保尚武(大学英語教育学会会長) 「願望の政策」から「責任ある政策」へ 407 会議室

9:30-10:00 清田洋一(明星大学) 外国語学習における My Time Line—自律的に継続する外国語学習への支援

10:00-10:30 長沼君主(東海大学) Can-Do 評価と観点別評価の位置付けと関連性に関する一考察

10:40-11:10 平瀬洋子(広島国際学院大学) 専門分野と「動機づけ」の関係

11:10-11:40 石井研司(立命館大学) 英語リメディアル教育における協働学習, 自己効力感, メタ認知方略の関係性に着目した授業デザインの展望—自己調整学習の観点から

12:10-13:00 昼食休憩

13:00-13:30 恒安眞佐(宇都宮大学) 個人差を活かした英語活動(ワークショップ)

13:30-14:00 浅野亨三(南山大学),山口高領(早稲田大学)学生同士で学んでいく音読劇(Readers Theatre)
14:00-14:30 平野順也(熊本大学),牧野眞貴(近畿大学)習熟度の低い大学生を対象とした英語授業意識調査—動機づけのヒントを求めて—

14:45-16:45 シンポジウム 7: 異文化理解教育は学習者をどのように動機づけるか

司会:中山夏恵(共愛学園前橋国際大学),シンポジスト:吉浦潤次(大阪府立交野高校)異文化の題材で生徒のコミュニケーションへの意欲を高める—マララ・ユフザイの国連スピーチを用いて,斎藤理一郎(群馬県立太田フレックス高等学校)外国籍生徒と共生する教室での異文化交流授業実践,栗原文子(中央大学)異文化間能力の可視化への可能性を探る

408 会議室

9:00- 9:30 境一三,丸田千花子,治山純子(慶應義塾大学)第二外国語科目(既習者クラス)における高校・大学連携に対する意識のアンケート調査について

9:30-10:00 西垣知佳子(千葉大学),内山将夫(情報通信研究機構),鈴木純美子(開隆堂出版),砂岡和子(早稲田大学)日英中韓共同プロジェクト4か国語学習教材の開発—多言語学習の動機づけとマルチ・カルチャー接触とその対処法—

10:00-10:30 勝又恵理子(青山学院大学)英語教育における異文化コミュニケーション能力の養成と動機づけ

10:40-11:10 林田理恵(大阪大学),金子百合子(岩手大学)全国6言語アンケート調査結果(第2回中間報告)とロシア語教育の方向性

11:10-11:40 王松(関西学院大学),古川裕(大阪大学),砂岡和子(早稲田大学)あなたはなぜ中国語を勉強しているのですか—2012 全国調査に基づく中国語履修者回答分析—

11:40-12:10 小川敦(大阪大学)移民国家ルクセンブルクにおけるドイツ語識字教育の課題

12:10-13:00 昼食休憩

13:00-13:30 姫田麻利子(大東文化大学外国語学部)大学生の「言語ポートレート

13:30-14:00 大澤麻里子(東京大学)イタリアヴァッレダオスタ州におけるバイリンガル教育とその課題

14:00-14:30 田原憲和(立命館大学)世界と「つながる」ための動画作成プロジェクト

14:45-16:45 シンポジウム 6: 実践と研究の架橋となる質的研究:英語教師による学びと変容

司会・提案:高木亜希子(青山学院大学),シンポジスト:河田浩一(愛知県立熱田高等学校)Exploratory Practice を通じた動機づけ:質的調査を通して「教室生活の質」を高める探求的实践,上條武(立命館大学)読解ストラテジー評価に学習ログを採用した実践研究:Research Portfolio に基づく研究の立ち位置の考察,東條弘子(東京大学大学院生),吉岡順子(町田市立町田第一中学校)教師の発問と意識変容過程の検討:中学校英語科における教室談話分析

409 会議室

14:45-15:15 黒川敦子(名古屋大学大学院)日英音素の差異への気づきを促す小学校でのフォニックス指導の試み:指導結果から

15:15-15:45 加藤拓由(神屋小学校)小学校英語に学級担任が関わることの重要性~児童の動機付けと,学びの構造に着目して~

15:45-16:15 安達理恵(愛知工科大学)小学校外国語活動における児童の英語に対する動機づけと異文化に関する態度特性に関する実証的調査研究の総括

16:15-16:45 相澤一美(東京電機大学),酒井志延(千葉商科大学)小学校外国語活動における教員の英単語

意識調査

410 会議室

9:00-10:30 シンポジウム 4: 文学指導は学習者をどのように動機づけるか。関戸冬彦, 柳瀬陽介(広島大学), 和田玲(順天中学・高等学校), 鈴木章能(甲南女子大学), 中垣恒太郎(大東文化大学)

10:40-12:10 シンポジウム 5: 批判的ディスコース分析(CDA)の言語教育への応用

シンポジスト:石上文正(人間環境大学)『男はつらいよ』の寅さんの口上の“深み”に向かって, シンポジスト:相田洋明(大阪府立大学)日英の royal baby 誕生報道の分析, 高木佐知子(大阪府立大学)ウェブページの企業紹介の分析

12:10-13:00 昼食休憩

13:00-13:30 篠塚勝正(日本メディア英語学会)初級英語学習者への音読指導による英語力向上とモチベーション及び学習方略の関係

13:30-14:00 塩見佳代子(立命館大学)英語学習の動機づけを促す提案型ビジネスプレゼンテーション:社会起業家に向けて行うアイデアの発信

14:45-16:45 コンテスト型ワークショップ: 大学英語教育をビジネスの実践にどう結びつけるか。

司会・提案:藤尾美佐(東洋大学)

第1部 大学生によるビジネス英語プレゼンテーション・コンテスト

第2部: 「大学英語教育をビジネスの実践にどう結びつけるか」の討論会

18:45-20:15 懇親会 英語教育界のロックスターと言われる関戸冬彦先生のパフォーマンスが入ります。イタリア料理とハワイアンのお店です。お一人 4000 円です。お申し込みは, shien@cuc.ac.jp です。

なお, 会議室の広さは異なり, 収容能力には差があります。したがって, 参加者の実情により, 会議室の変更は前日までのメールでお知らせします。